

## 令和7年度第1回鋸南町地域公共交通活性化協議会 議事要旨

- 1 開催日時 令和7年11月5日(水)  
午後2時00分から午後3時25分まで
- 2 開催場所 鋸南町役場 3階 大会議室
- 3 出席者 別紙「出席者名簿」のとおり

### 4 会議の概要

#### (1) 開会

事務局から開会が宣言された。

#### (2) あいさつ

鋸南町地域公共交通活性化協議会会長 内田 正司氏があいさつを述べた。

#### (3) 議題

##### ①各種アンケート結果について

委託業者であるランドブレイン(株)から鋸南町地域公共交通計画(中間報告)について説明を行った。議長から質疑及び意見を求めたところ、次の発言があった。

○鈴木辰也委員 鋸南町商工会

地域公共交通は、来訪者に対する2次交通と、地元の人が使う地域の公共交通の考え方は全く違うと思う。地域の公共交通はある程度福祉的な意味合いが強く、地域公共交通の施策を進めるにあたって、費用対効果がなかったからデマンド交通はやらないという結果になったが、福祉というのは費用対効果だけを求めてやればいいというものではないと思う。どこまで今回のアンケート結果を今後の施策に生かすときにどれだけ費用対効果を考えた政策をしていくのか。

高齢者に対する公共交通というのは、費用対効果がないから、良い悪いではなく、ある程度町民の人が満足できるような公共交通を整備していくべきだと思いますし、そこのところの兼ね合いが非常に難しい、課題整理も今まで循環バスの運行方式や時間について、町も何回か見直ししていると聞くが、なかなかうまくいかない。何が問題なのか、それもまだわからないところもあります。

今後の政策をこのアンケートをもって考えるときに、本当に費用対効果無視で、住民の人が満足できる公共交通網を整備していくのか、やはりそれは現実的ではないという思いもある。そこの兼ね合いをどのように事業者さんの方で考え、今後の施策を行っていくのが、今のところわからない。

循環バスについても、今回のアンケートも免許を持っている人は、ほとんど利用しないので、本当に必要な人にとってのアンケートをしっかりとって、そういう人達のためになるような公共交通を、いずれ私達も年をとっていけば、免許を返納してお世話になる可能性もあるわけですし、その時に、鋸南町の公共交通は

これだけ整備されていていいなっていうような、せっかくこれだけお金をかけて計画をつくるわけですから、そういうような計画ができたらいいと思います。

○高橋晴樹委員 日東交通(株)

先程の鈴木委員と重複するところもありますが、私ども循環バスの運行委託をさせていただいております、以前金谷の鋸山の日本遺産認定関係のワークショップに出席させてもらった時に意見が出たのが、少し走れば富津市になってしまうけれども循環バスを富津市のギリギリの鋸山の麓まで行ければ、公共交通を普段利用されている方と観光需要を含めてもう少し利用が見込めるのではないかと意見がありました。

公共交通に関わる関係者アンケート調査でも回答しましたが、1つの市町村で考えるとなかなか利用者の増加というのは見込めない部分がございますので、近隣行政と連携した取り組みで少しでも多くそういった活路が見いだせないかなと思います。

私どもも市原から南の8市1町全ての路線エリアを運行させていただいておりますので、是非そういった協力もしていきたいところがございます。地域公共交通計画の策定もそうですけども、引き続きどうぞよろしくお願いいたします。

○福岡百合子委員 (有)鋸南タクシー

車両台数を増やしたり、ドライバーを増やすということは今の状況では難しい。昨日も年配のお客さんで、その人も保田までバスで帰りたいけど、バスの時間がちょうどいいのがなく、タクシーも東京に行ったり館山に行ったりで出払っていたので30分以上待つことになる事もあった。そのお客さんもバスの本数を増やしてほしいとの話があった。

休みとか連休になると、鋸山関係の仕事が多く入りますが、連休で道路の渋滞が多くて、時刻通りに運行するのが難しい。普段であれば金谷まで20~30分なのが、渋滞にはまると1時間くらいタクシーが帰ってこれなくなるので、鋸山方面は断ったりしている。

○中村 基委員 鋸南町議会議員

アンケート結果からのデータの話で、先程鈴木委員からデマンドの件で、採算が合わないとあったが、デマンドの位置づけは採算が取れるか取れないかって出発点が違っていたんだと私は思います。

鋸南タクシーさんの日報で町内から町内とデマンドと競合するところを見ると、デマンドを開始してからも過去と比較して、鋸南タクシーさんの町内から町内の乗車数は変わらなかった。デマンドは1日あたり利用者4.8人のニーズを満たしていた。今後、公共交通の体系を考える時に、デマンドは採算が合わないからという発想は合わない。一定のニーズを満たしていたんです。高齢な方や、バス停まで来れない方もそういうことがデータ上証明されている

デマンドを採用するならば今までの経費形態をどうやって構造を変えてやったらいいのか、そっちを考えた方が良くと思います。

○鈴木 昭一委員 鋸南町民生員児童委員協議会

鋸南町はこれだけ人口が少なくなって、人口が多いところは国道沿いだけで、山の奥の方は少ないと。そうすると循環バスにしてもデマンドにしても、それを少ないところも多いところも一緒にひとくくりにして、皆が平等に恩恵を被ることは中々難しいような感じがします。

国道沿いはバスをたくさん走らせ、人数の少ないところはタクシーを走らせるような、全部をひとくくりにして1つの方式にまとめるというよりも、地域なり、人口分けなりもう少し細かく分けて、そこに適用する方法がないかというようなことの方がいいような感じがします。

○平野 幸男委員 社会福祉法人鋸南町社会福祉協議会

鋸南町のような地方の過疎化が進んでいる状況の事例で、ランドブレイン㈱さんがいくつかコンサルとして着手されていることを前提に伺いますが、鋸南町の交通の特徴で、特に利用者がどういう特性があるか、公共交通自体にどういう長所短所があるのか今聞くことができれば教えて欲しいと思います。

○ランドブレイン㈱

人口としては鉄道沿線というか、駅周辺に集中しているという特徴はあると思います。データを見たときに気になるのは、現在の循環バスの利用状況を見たときに、1日のダイヤで見ると日中のダイヤは一定の利用があると思います。

また、バス停ごとの利用状況を見ると、利用の乗降者数が多いのは保田駅と安房勝山駅あるいは中央公民館とその3箇所が多くなっておりますが、実際は大崩とか中上コミセンから乗った人が、この3箇所で降りていると思っています。鉄道沿線が集中していて利用があるからここだけの運行としたら利用があるのかは疑問があります。

ダイヤごとに見るとかなり利用の少ないダイヤも見受けられます。ただ一方で幹線道路から離れた集落においては、不便な地域も存在するのでこのあたりがキーになっていて、エリアで分けるという考えありますし、場合によってはその時間帯によって循環バスとデマンドを組み合わせるとか、その辺の可能性を探っていく必要があると思います。

○鈴木辰也委員 鋸南町商工会

循環バスのルートについてなんですが、今循環バスのサイズはマイクロバスサイズで、それによって通過してほしいルートにバスが入って行けない事もあると思うが、今後を考えた時に、バスのサイズについては検討していただけるのか。車両が小さくなれば通過してほしいルートに入って行けますし、利用する方も増えるのではないかと思います。今後の循環バスの運行の考え方として1つそこも検討してほしいと思います。

○ランドブレイン㈱

循環バスのサイズについても大きなバスではなく、小さなワゴン車で運行したらどうかというご意見も寄せられている事実はございます。確かに今の車両では

なく、少し小さい車両にすることによって狭い道路にも入って行けるという部分もあろうかと思えます。一方で、ダイヤごとの利用者数を見る限り、一番利用者の多かったのがバスの2便で、平均で6.4人の利用者となっております。平均で6.4人ということは、最大では恐らく10人を超えている可能性が日によってあるのではないかと懸念もあります。基本はその最大の輸送人員をカバーしないと、取りこぼしが発生する可能性があるのもその辺の兼ね合いも含めて、検討する必要があると考えます。

○中村 基委員 鋸南町議会議員

11月15日に開催されるワークショップをどのような形で開催するのか。今でたバスの大きさや、乗降場所や、時刻表の問題でJRの接続とかそういうのは目先の問題であり、直近で直ぐに解決できる課題で、今度はそうではなくデータに基づいた将来の公共交通をやるために、例えば将来の交通難民問題もあります。現在からデータがある訳ですから、5年後10年後の状況がどうなのか、どんな地区にどんな分布でとか。

今ある循環バス、タクシー、デマンド、スクールバス、社協、介護事業者車両、公用車、民間それから鋸南版のライドシェアも含めて、この公共交通手段をどうやって組み合わせていくのか。公共交通についてどう思いますかとか不便だと思いますがどうしたら満足できますかではなく、テーマを落とし込んで、目先の改善すべきことは個別にテーマアップしてやっていただけると進んでいくと思えます。

②その他

事務局から『地域公共交通計画ワークショップチラシ』と『きんこくタクシーチラシ』について説明を行った。議長から質疑及び意見を求めたところ、特に質疑はなかった。

議長は、全議題の審議を終了した旨宣言した。

(4) 閉会

事務局より閉会が宣言された。